

施設名	京橋川の雁木群								
所在地	広島県 広島市								
管理者等	広島県								
施設種類・分野	河川								
施設概要 (明治期との関連含む)	毛利輝元による広島城築城(1589年)以来、干拓や築堤によって市街地が形成され、古くから水運が発達した広島にあって、干満差の大きい河川舟運を支えたのが、船着場に荷揚げのために設けられた階段である「雁木」だ。太田川水系のデルタ地帯には、新旧含め約400個所の雁木が分布しており、とりわけ明治から大正にかけて築造された伝統的な石積み雁木が多く残る京橋川に点在する約30個所の雁木群は、全国最大規模の河川舟運用雁木群である。(文献2より抜粋)								
築造時期	明治後期			時期詳細	明治後期～大正期(推測)				
関連人物	-								
関連企業	-								
トピックス (特徴的エピソード)	昭和初期まで、瀬戸内海の島しょ部や中国山地から木材や食料などさまざまな生活物資が船で運ばれ、雁木で荷揚げされた。かつて物流の中心的役割を担った大規模な雁木は公共的性格が強く、現在も親水空間として市民の憩いの場となっている。(文献2より抜粋)								
歴史的な遺産等の指定の有無等	○	選奨土木遺産 (土木学会)	○	文化財 (文化庁)	-	近代化産業遺産 (経産省)	-	世界遺産 (ユネスコ)	-
その他 (関連資料、文献)	文献1:土木学会 中国地方の選奨土木遺産(改訂版) 文献2:土木学会 選奨土木遺産解説シート (http://committees.jsce.or.jp/heritage/node/21)								
管理者等のHP (URL等)	arch-hiroshima http://arch-hiroshima.info/arch/hiroshima/kyobashi_gangi.html								



出典:土木学会HP 文献2